

ROGOWSKI LEAK METER RLM-10

取扱説明書

このたびは、RLM-10をお買い上げいただきありがとうございます。
本器は、当社のすぐれた技術から創りだされた信頼性の高いリークメータです。

ご使用前にこの《取扱説明書》をよくお読みになり正しくお使いください。

この取扱説明書は、いつでも使用できるよう、大切に保管してください。

マルチ計測器株式会社

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町一丁目26番

秋葉原村井ビル7F

TEL03-3251-7013 FAX03-3253-4278

安全上のご注意

- 本器を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項はお使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載してあります。

 **警告：**この表示は、取り扱いを誤った場合に、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意：**この表示は、取り扱いを誤った場合、「損害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。

警告

感電の恐れがあります。

- 本器は低圧用です。AC500V以下の電路で使用してください。
測定の前に回路電圧の確認を行ってください。
- 測定は被覆線のみとし、裸線にはクランプしないでください。
(裸線にクランプしたい場合は、絶縁手袋を行い感電に十分注意してください。)

感電や感電事故の恐れがあります。

- 雨や湿気にさらされた状態、水滴が付着した状態や濡れた手での操作は避けてください。
- 本体ケースやフレキシブルCTの外装に損傷のある場合の使用は避けてください。
又、電池カバーが外れている場合は測定をしないでください。
- 電池を交換するときは、全ての測定回路から本器をはずして、交換してください。

本器を損傷する恐れがあります。

- 本器を分解しないでください。
- フレキシブルセンサを必要以上にねじったり、曲げたり、のぼしたりしないでください。特性劣化、破損の原因になります。

1.概 要

- 本器は自由に曲げられるロゴウスキー方式のクランプ式電流センサを使用した交流漏れ電流計です。
- 10mA～3000Aまでケーブル、ブスバーによる影響を受けにくくクランプができ、更に空芯コイルでは、業界初となる外部磁界、残留電流の影響が少ないため、漏れ電流も測定できる非常に優れたクランプ式漏れ電流計です。

2.使用前の注意事項

開梱が終わりましたら、外観を点検し、付属品（3-3）を確認してください。万一損傷や不足品がありましたら、お買い上げの販売店又は弊社までご連絡ください。

3.仕 様

1)電流検出センサ(フレキシブルCT)仕様

名 称 : FZCT-220
セ ン サ 方 式 : ログウスキー方式分割CT
C T 窓 径 : $\phi 210\text{mm}$ (全長 約650mm)
残 留 電 流 の 影 響 : 0.5A以下 (50Aの往復電流で最も影響を受ける場所において)
耐 電 圧 : AC2200V,1分間
リ ー ド 線 長 : 約2000mm (計測部とCTまでの長さ)

2)計測部仕様

測 定 機 能 : 交流電流(ACA),漏れ電流(ACA)
測 定 方 式 : CTクランプ方式
測 定 範 囲 : AC3000mA/30A/300A/3000A
レ ン ジ 切 換 : 4レンジマニュアル(ロータリースイッチ)
交 流 検 波 方 式 : 実効値検波
A / D 変 換 方 式 : 二重積分方式
サ ン プ ル レ ー ト : 2回/秒
表 示 : 液晶表示
最大表示3200カウント単位記号付
オーバレンジ表示「OL」を表示
データホールド「DH」を表示
電池電圧低下表示:動作電圧以下の時 ∇ マークを点灯
データーホールド機能 : データホールドスイッチよりデータを保持
記 録 計 出 力 : 各レンジ値のフルスケールにおいてDC300mV出力
($\phi 2.5$ イヤホンプラグ) 出カインピーダンス10k Ω 以下
オートパワーオフ機能 : パワースイッチON後、最終キー操作より約10分後に自動的に電源をOFFします。再度電源をONする場合は、レンジ切替えスイッチをOFFにし、再度電源ONにします。ただし、記録計出力に記録計コード(オプション)を差し込んでいる場合は、オートパワーオフ機能を解除します。
バックライト機能 : ライトスイッチを押すと表示器のバックライトが点灯します。再度押すとバックライトが消灯します。

3) 一般仕様

- 使用回路電圧：AC500V以下の低圧回路
使用温湿度範囲：0～40℃,80%RH以下（但し結露なきこと。）
保存温湿度範囲：-10℃～60℃,70%RH以下（但し結露なきこと。）
耐電圧：AC2200V 1分間
絶縁抵抗：DC500Vメガにて50MΩ以上
電源：単3形乾電池UM-3×6
消費電流：約7mA（連続使用で200H以上）
外形寸法・重量：本体159(W)×105(H)×53(D) 約350g（電池含まず）
センサ：内径φ210mm,約250g
付属品：単3形乾電池(UM-3)・・・6
取扱説明書・・・1
収納ケース・・・1
オプション：記録計出力プラグ付きコード

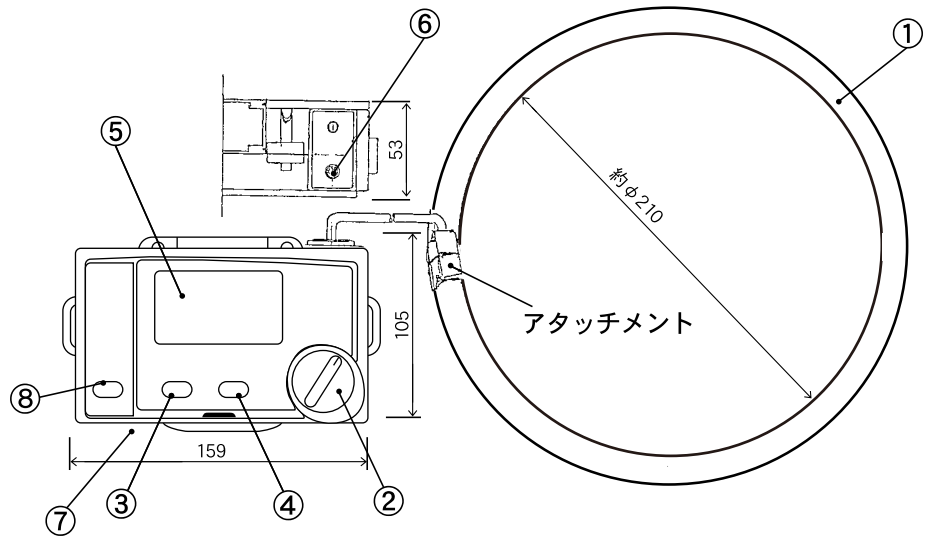
4) 性能

条件 23℃±5℃,80%RH以下
実効値検波、入力周波数50/60Hzにおいて、

レンジ	分解能	確 度
3000mA	1mA	±3%rdg ±10dgt
30A	0.01A	±2.5%rdg ±5dgt
300A	0.1A	
3000A	1A	
記録計出力		±2%FS

- ・ 確度は、被測定電線をセンサの中央においた時とする。
- ・ 3000mAレンジは0Aで表示が5,6カウント出ていますが異常ではありません。

4.各部の名称と説明



- ① 電流検出用センサ：電流検出用センサで、フレキシブルCTになっています。（フレキシブルCT）
- ② レンジ切替スイッチ：電源のON,OFFレンジの切替スイッチです。本器は、オートパワーオフ機能により、電源ON後約10分で自動的に電源をOFFにします。この場合は、レンジ切替スイッチを一旦OFFにし再度電源をONにしてください。
- ③ 「FLLTER」スイッチ：本スイッチを1回押すと、表示器にFLを表示しフィルターモードになり、高域周波数をカットした表示になります。再度押すと解除します。
- ④ 「D-HOLD」スイッチ：押すと「DH」マークが点灯し、表示をホールドします。再度押すと解除します。
- ⑤ 表 示 器：測定値のデジタル表示、単位記号及び電池状態を表示します。
- ⑥ 「REC」記録計出力：電流を長時間測定する場合、この出力を記録計に接続し、測定します。出力は各レンジのフルスケールにおいてDC300mVです。（ゴムカバーがネジ止めされているので、外してから使用して下さい。）
- ⑦ 電池カバー（背面）：電池カバーを取ると電池の交換ができます。
- ⑧ 「LIGHT」スイッチ：本スイッチを押すと表示器のバックライトが点灯します。再度押すとバックライトが消灯します。

5.取扱方法

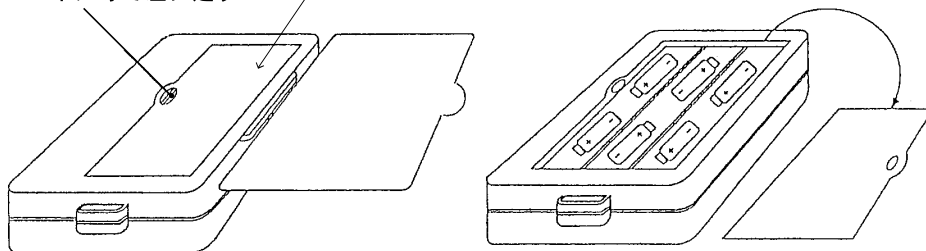
5-1) 電池の交換

- 1) 本体底部電池の締付けネジをマイナスドライバーやコイン等で左に廻し外します。
- 2) 電池ケースに彫刻された方向に電池の極性（＋、－）を確認して交換します。
- 3) 長時間使用しない場合は、電池を全て抜き取ってください。

電池消耗や液漏れの原因になります。

マイナスドライバーや
コイン等で左に廻す

電池蓋



⚠ 警告

- ① 電池の極性を間違えると液漏れや、本体の電気回路の故障原因となる危険性があります。
- ② 電池を分解したり、火中に投じることは非常に危険ですので絶対にしないでください。
- ③ 電池の極性を間違えてセットしたまま放置すると電池は、消耗及び発熱して不良となります。再度正しくセットしても、その電池は使用できません。
- ④ 使用済みの電池は、指定の場所に種別に従って廃棄処分してください。

⚠ 警告

感電の恐れがあります。

- 電池カバーを外した場合、必ず元に戻してください。電池カバーを外したままの使用は避けてください。
- 電線をクランプした状態で、電池を交換しないでください。

5・2) 測定

安全にご使用いただくために、記載されている注意、警告の内容は必ず厳守してください。

⚠ 警告

感電の恐れがあります。

- 安全上、AC500V以下の電路でご使用ください。
ご使用前に、使用回路電圧の確認を行ってください。

感電や感電事故の恐れがあります。

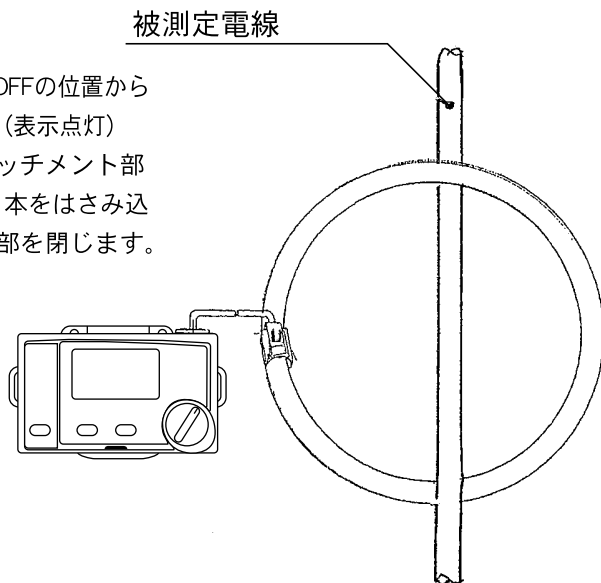
- 雨や湿気にさらされた状態、水滴が付着した状態又は濡れた手での使用は避けてください。
- 本体ケースやフレキシブルCT外装に損傷のある場合の使用は避けてください。
- 電池カバーが外れている状態での使用は避けてください。

注 意

- 3000mAレンジは、入力が0の時、表示が000mAになりませんが異常ではありません。
- レンジ切替スイッチをOFFからONにした時表示が0になるまで時間がかかりますが異常ではありません。

(1) 線電流の測定

- ① レンジ切替スイッチ②をOFFの位置から3000Aのレンジにします。(表示点灯)
- ② フレキシブルCTのアタッチメント部を開き、測定したい電線1本をはさみ込みCTのアタッチメント部を閉じます。
- ③ レンジ切替スイッチ②で最適なレンジに設定し、指示値を読み取ります。(オーバレンジの時は、OLと表示します。)



- ※ 読み取りにくい場所では、データホールド④を活用します。
- ※ 高域周波数が多く含まれている場所はフィルタースイッチ③を活用します。

(2) 漏れ電流の測定

① 接地線での漏れ電流の測定

操作は線電流の測定と同様に行います。

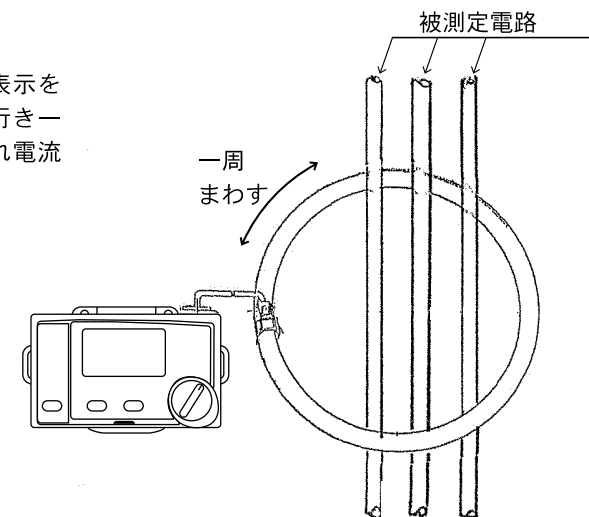
② 接地線以外の電路での漏れ電流の測定

操作は線電流の測定と同様ですが単相の漏れ電流は2本一緒に三相の場合は3本一緒にはさみ込んで測定します。

漏れ電流の測定テクニック

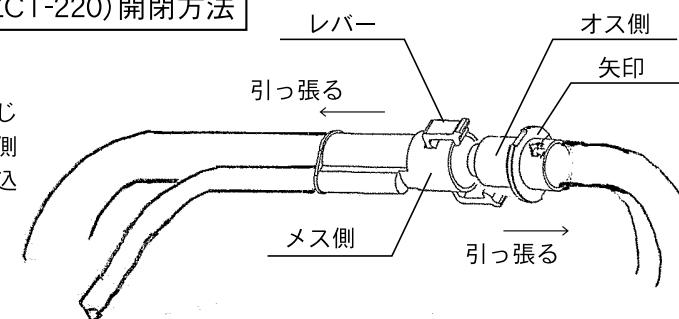
本器の電流検出センサ（フレキシブルCT）は、磁性材料を使わない空芯コイルです。従って通常のZCTと比べると外部磁界の影響、残留電流の影響が悪いですが、下記の方法で測定すれば精度の良い測定ができます。

右図の様にセンサを設置し、表示を見ながらセンサを一周廻して行き一番小さい値が被測定電路の漏れ電流です。



電流検出センサ (FZCT-220) 開閉方法

- ・フレキシブルCTを閉じる時はオス側とメス側を合わせてから押し込んでください。

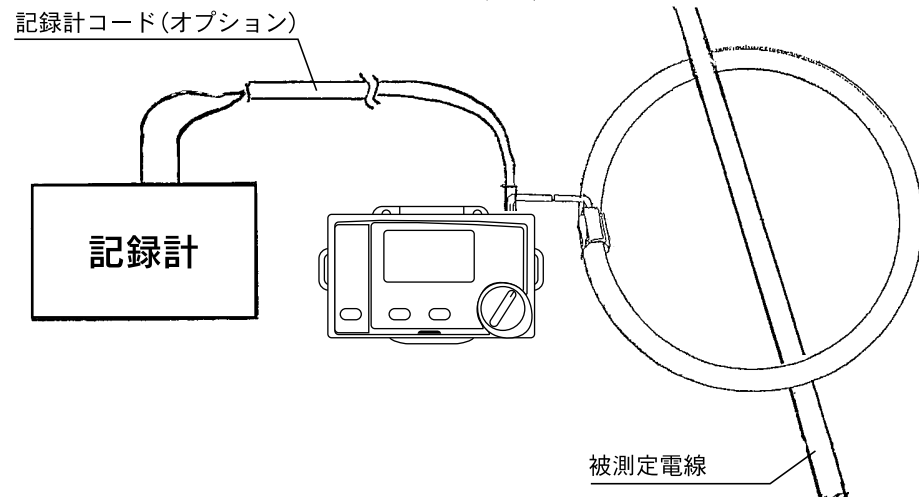


- ・フレキシブルCTを開く時はメス側のレバーとオス側の矢印を合わせて軽く引っ張ってください。

(3) その他の測定

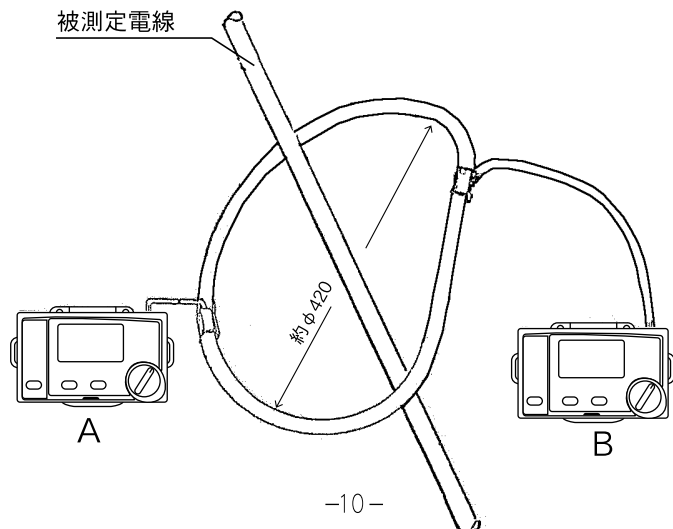
① 記録計出力を使って測定

長時間電流をモニターしたい場合は、記録計出力を使用します。
(REC)



記録計出力部(REC)のネジとゴムカバーを外し、専用の記録計コード(φ2.5mm イヤホンプラグ)を本体のRECに差し込み、記録計と接続します。記録計コードを本器RECに差し込むと、オートパワーオフ機能は動作しません。(ネジとゴムカバーはなくさないようにして下さい)

② 本器2台を使っての大口徑電路測定



a) Aのセンサのメス側とBのセンサのオス側を接続し、Aのセンサのオス側とBのセンサのメス側を使って、被測定電線をクランプします。

b) AとBのレンジを同レンジにします。(3000mAなら3000mA)

c) Aの指示値とBの指示値を読み取り、AとBの指示値を加算した値が被測定電路に流れる電流値です。

6.アフターサービス

万一故障した場合は、お手数でもお買い上げいただいた販売店へ直接お持ち込みください。なお、都合の悪い場合は、弊社まで郵送願います。郵送する場合は、本器を柔らかい紙、または布で包んで外箱(ダンボール等)に収納し、住所、氏名、電話番号を明記した保証書といっしょに簡易書留で郵送してください。

7.保証について

本器は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障の節はお買い上げいただいた販売店または当社へお申しつけください。なお、本製品の保証期間はご購入日より1か年です。この間に発生した故障で、原因が明らかに当社の責任と判定された場合には無償修理いたします。

保証書

※御使用者

住 所

氏 名

MODEL NO RLM-10

SER
NO

保証期間 年 月 より 1 年

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。
お手数でも※印箇所にご記入の上本器の最終御使用者のお手許
に保管してください。

保証規定

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は保証
規定に基づき無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 保証書の再発行はいたしません。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - 不適當な取扱い、使用による故障
 - 設計仕様条件等をこえた取扱い、使用または保管による故障
 - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
 - その他当社の責任とみなされない故障

販売店名